

求められる施設を目指して



サービス管理責任者 布村裕介

# 豊かな人生

「国立のぞみの園 見学」

3月4日に職員5名で国立のぞみの園へ見学に行かせていただきました。

のぞみの園では入所されている方が、生まれた地域へ帰り生活ができるようにと地域移行支援を行っています。まがたまも過去に2名の利用者様を受け入れました、生まれた地域に帰ることができ、家族とも近くなりその方の人生が、より豊かになる支援に力を入れておられます。

また強度行動障害者への支援についても長年取り組んでいる施設でもありません。そういった日常生活に困りごとを抱えておられる利用者様、生活環境を実際に見せて頂き、利用者様の特性に合わせて様々な工夫がしてあるのを見学しました。



児童発達支援管理責任者 井上ゆり

「障害者虐待防止 マネージャー研修会」

令和6年1月に行われた障害者虐待防止マネージャー研修会に参加し、基本的な権利の再確認から実際の施設の取組まで勉強しました。

実際の施設の取り組みで身体拘束も含めた実例を多数あげていただき、ハード面とソフト面の両方からどのように対応したかを講演されました。1つ仕事を増やす場合は職員の負担にならないよう、仕事の量がかわらないよう調節すると話され、職員を大切にしているなと感じました。

# まがたま

令和6年 3月 第142号  
社会福祉法人上口福祉会  
障害者支援施設まがたま  
〒699-0201  
松江市玉湯町玉造1649-2  
TEL0852-62-2535  
FAX0852-62-2586



# みんなが主役 ～レッドカーペットを悠々と～

まがたま、春の風物詩といえはやはりこの行事「まがたまファッショショー」を3月20日、体育棟にて今年も行いました。

出演者の方は、お気に入りの服や、お揃いコーデ、インパクトのある出し物を用意し登場される方もありました。



「おしゃれをして元気になるう」  
「おしゃれをして笑顔になろう」  
をコンセプトに始まったファッショショーも回を重ね、今では、まがたまに春を告げる季節の恒例イベントとなりました。

(広報副委員長 桑原奈々)

## ご要望

今回は苦情がありませんでした。今後も、みなさまからの「ご意見やご要望を真摯に受け止め、安全安心な施設づくりに努めて参ります。」

## 編集後記

今年度、最後の機関紙となりました。まがたまの四季折々の行事や、給食の紹介、また、施設内研修や日々の活動、そして何より日々生活される利用者様の明るい笑顔を、1年間ご紹介させて頂きました(錦織優気)



QRコード

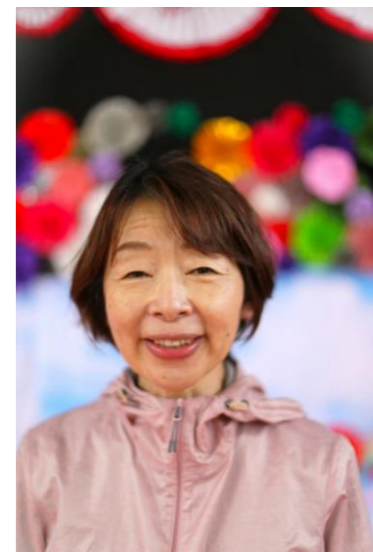
錦織優気 桑原奈々 松本啓介 今井宏幸  
松浦洋治 松岡集矢 石田裕雅 小室唯奈 土江和輝



当広報に掲載された写真につきましては、プライバシーに配慮し、予め掲載の同意を得ています。

# 初心に帰る

～令和5年度を終えて～



施設長 斎藤浩子

令和6年度には報酬改定が行われます。今後、施設のあり方についての議論が活発になるのではないかと感じています。初心に帰り、職員が心を一つにして、利用者様の高齢化による体調の変化や障害特性の多様化に応じた支援、意思決定支援に真摯に取り組んでまいります。数日前はなごり雪も降りました。桜の開花が待ち遠しいですね。



今年度、まがたまでは、一名のご利用者様が成人を迎えられ、成人を祝う会を開催いたしました。正装でピシッと決めた姿は、どこか少し緊張しているようにも見えました。また、ご家族様、養護学校の恩師の方々にも出席していただくことができ、良い雰囲気となりました。

式では、何か、まがたまらしいことができないかと、ケーキバイト、プロのカメラマンによる写真撮影も行いました。スライドショーや、恩師のメッセージではご家族様が涙する場面も見られ、会場が感動に包まれました。

この度、成人という一つの大きな節目を迎えられ、改めて、本当におめでとうございます。

これからも、たくさんのお祝いをつくっていきましよう。

(行事副委員長 松坂正之)

## 新たな門出 ～大人の階段上る～



## ほんなり気分 食で感じる春の訪れ



### 雛祭り献立

3月は雛祭りの献立を提供しました。

内容は、鮭のちらし寿司に、筑前煮、苺ロールケーキ、オクラの味噌汁です。果物のいちごからは甘い良い香りがしていました！

間食は菱餅に見立てた三色ゼリーです。

可愛らしい見た目になるよう盛り付けも一皿一皿丁寧に、職員もいつもより楽しみながら調理になりました。

利用者さまからの「おいしかったよ！」「全部食べた！」「言葉は、何よりも調理職員の励みになります！！」

寒い日が続きますが、春の訪れを感じる献立になるよう努めていきたいと思っております。みなでイベントの多い春を楽しみましょう。

(管理栄養士 川西美希)



## 福よ来い！ ～大きな声出し鬼退治～



2月2日、体育棟にて、「節分行事」を行いました。

会場内は、日々の日中活動で作成した鬼などの作品を飾り、賑やかに開催しました。

鬼の的当てゲームをしたり、喫茶でお茶を過ごしました。

また、なんとと言ってもメインは、鬼の登場です！鬼が登場すると、会場内は、素敵な笑顔と鬼への悲鳴や、ボールを投げる活気に満ち、楽しい節分行事となりました。

(行事委員 景山瑞穂)

## パワースポット巡る

### 赤い鳥居のその先に



当施設を山の上から見守って下さる存在。真っ赤な鳥居の続く先に鎮座しております「まがたま神社」はこの度、新たな参道が開通されました。

これまでの参道は入口から神社まで一直線でしたが、新たな参道は神社を中心にごく一周することのできるルートとなっております。

4月に入ると温かくなります。山の頂上の神社まで散歩してみたいかがでしょうか？

(広報委員 松岡隼矢)

## 居心地最高！

### 好きな物に囲まれて



その人らしい生活、快適で豊かな生活を実現するための一つに居室コンテストを毎年開催しています。

利用者様の好み、性格、趣味などをお部屋の中に生かし、開催期間中にエンタリーして審査日に審査員がお部屋を訪問して審査します。趣味や好きな物を集めた居室、「その人らしさ」を大切に、身心ともにリラックスして過ごしていただけ空間作りを心掛け、利用者様と職員が一緒にお部屋作りをしました。

表彰式には斎藤施設長より受賞者のみなさんに賞状と記念品が贈られました。

素敵な空間に沢山の笑顔があふれますように。

(広報副委員長 桑原奈々)

## 森からのおくりもの アウトドアで大活躍

きのこ班では、きのこの栽培の他に、昨年からの、毎日、果樹園にある作業小屋で、「薪」の作成も行っております。

敷地内にある木を伐採してから、利用者様と一緒に薪割り機で割り、束ねて販売しております！

利用者様と、一生懸命作成した自慢の「薪」、是非たくさんの方々にお使いいただけたら嬉しく思っております。

お買い求めの際は、まがたままで、ご連絡お待ちしております！

(生産活動班 班長 錦織優気)



1束 200円です！(〃)!

## 強みを活かして ～地球にやさしい取り組み～



たんぼぼ、ひまわり班では、昨年、缶潰し機を購入し、利用者様の日々の日中活動で、新しく、空き缶潰しを始めた。

特に、この活動が気に入られた利用者様が2・3人おられ、ハイペースで缶潰しをして下さり、たくさんの方の缶潰しとができました。

また、冬の寒い時期には、できない時もありましたが、それ以外の時期には、ほぼ毎日取り組む事もできました。

来年度は、更にこの作業を充実させて、今後も利用者様と一緒に楽しく活動に励んで参りたいと思います。

今後とも応援の程よろしくお願ひします。

(生活支援員 景山哲彦)